

宮古島市記者会見資料

航空自衛隊宮古島分屯基地で発見された地中構造物中の汚染水について（第４報）

令和８年９月１日

宮古島市環境衛生局

前回会見（８月３日第３報）以降の経過は以下の通りです。

（１）汚泥等の処分状況

８月２８日時点での回収・搬出・処分状況は以下の通りです。

回収物	収容形態	回収済み	島外搬出済み	処分済み
汚染水等	IBC コンテナ（１ｍ ^３ ）	６個	６個	６個
汚泥等	ドラム缶（０.２ｍ ^３ ）	２７９缶	２３２缶	６４缶

※処分済み数量は、マニフェストＥ票により最終処分終了報告がなされた数量。

（２）作業状況

構造物の底がなく開放状態になっている可能性も否定できないことから、構造物内の汚泥撤去作業を８月１７日から停止し、構造物の全容を把握するため同日より外側の掘削作業を行っている。発見から現在に至るまで内部水位が下がったり水が底面に吸い込まれたりするような現象は確認されていないことから、構造物中の水（洗浄水を含む）が外部に流出していないと考える。

掘削に伴い取り出した岩石等は、何らかの汚染がある可能性を考慮し、飛散等を防止するため、ドラム缶に密封している。

（３）今後の見通しと検討事項

現在、構造物外側の掘削作業は、構造物上面から約２ｍの深さまで到達している。相次ぐ台風や降雨の影響で作業の中断が生じているほか、構造物周辺に岩盤があるため掘削に時間を要している。構造物に底があるか否かによって今後の作業方法が変わりうるため、汚泥等の撤去がいつ頃完了するかは見通しが立たない状況である。

構造物周辺の土壌調査（ボーリング）について、ダイオキシン類を調査項目とする方向で沖縄防衛局が検討中である。また、今後の汚泥等除去作業の方法等については、外側の掘削により構造物の形状等を確認後に沖縄防衛局と市で協議を実施する予定である。

本件に関するお問い合わせ先

宮古島市環境保全課 79-5283 課長 川満朝和

水道総務課 72-2653 課長 下地貞盛

沖縄防衛局報道室 098-921-8131（内 175, 176）